

通算山行NO	678	報告者	後藤隆徳
年月日	'94年03月18日(金曜日) ~ '94年03月20日(日曜日)		
山行名	'94春山スキー		
山名	飛騨乗鞍岳(3026m)		
コース及 タイム	3/18 (晴)	下土狩 12:30 ~ 乗鞍岳国民宿舎駐車場 18:30 (テント泊)	
	3/19 (晴)	起床 3:45 ~ 出発 5:20 - 鳥居尾根 - 位ヶ条山荘 8:20 - 富士見沢のツル 10:20 - 角の小屋 11:20 - 頂上 12:30 ~ 45 - 角の小屋 13:15 - 駐車場 15:00 ~ 安曇湖畔 (テント泊) 迄 起床 1:30 ~ 下土狩 6:00	
標高差	国民宿舎駐車場 ~ 頂上 ≒ 1526m	困難度・危険度	富士見沢の雪崩
走行距離	下土狩 ~ 国民宿舎駐車場 ≒ 300km	自然度	積雪期は良い
参加者 役割分担	CL 後藤隆徳, 長岡浩一, 加藤寛, 香取正広 (全5)		
3/18	<p>登山で初めて組織的に取り組んだ山スキー。今までは何故か若い人がやる気が盛り上っていた。登山で香取と一緒。乗鞍のケレンテは2m位の雪。除雪は鈴蘭橋の先の国民宿舎までで、その駐車場(無料)にテントを張った。</p>		
3/19	<p>快晴で気温も高く絶好の登山日和。ヘッドランプを頼りに鈴蘭橋を渡り、鳥居尾根下にあるケレンテからスタート。ケレンテは300m程登った標高1800mで終り、その先は鳥居尾根の樹林帯に入る。滑降時の俊豪でここを登ったが小まな起伏が多いので無理と判断した。林道に出て小沢に入り、再び林道に出ると冷泉小屋は近い。ツルカンバの疎林を行くと、正面に乗鞍が大きく迫り、標線から口盛んに雪が舞が上った。この辺りは広大な雪原で少しは美しい景観だった。</p> <p>位ヶ条山荘と越えると、本来ルートはここから左に向い、小尾根を歩いて位ヶ条に出るのだが、今とこの地形が分からず真直ぐ進み、非常に急な富士見沢に入る。こんな所を登るのは少しと無謀だった。私は途中からツル和足にカマエ、ツルに運した。ここからアゼンを7ヶ、コナツ湖側所へ2ヶ、標高2800mの角の小屋に着いた。スキーをテントで頂上に向う。途中超ワックススキーの「カダハ」。互に履いた2人のオジさんに会った。靴の革製のオシロシの靴だったしアゼンも何と鍛造品で、こんな方がまた理髪で山に登っている!と驚いた。新調したダハジヤンの兼用靴もマアアア、少し振りに34mの多山に立った。雪は少し減ったが大展望を楽しみツルにたの。いよいよ大滑降が始まる。少しは緊張と大いなる喜びを感じさせるこの一瞬。</p> <p>4人は延々と続く大斜面に思い思いのスタイルを揃った。それにしても何人とも少しはいいことだ。天気が良いので途中にはツル叫びを張りたりして多くの人達が遊んでいた。私運も香取が持参したボールをいたたけ。快適に飛ばすとケレンテ着。と大に人取山迄程のよい気持ちでアゼン。さすに下るとさうして駐車場の土に出た。</p>		
その他	<ol style="list-style-type: none"> 1. 乗鞍岳まで往復9.5Hは十分に満足した。それにしてもスキーは速くて快適だ。 2. 富士見沢の何回かのトレーニングが良かった。 3. 平年の如月合宿はここを提案した。 		

